

## RST 研修会報告書

日時：平成22年11月30日（水）

場所：当院 大研修室

参加者：RST メンバー、当院医師、看護師、技術スタッフ、付属看護学生及び教員  
83名

講師：当院検査科 清水技師長

テーマ：「血液ガス分析における実践的な解釈の進め方」

内容：○生命を支える循環システムについて

○診療における検査の選択

○血液ガス分析で解釈する6項目について

○解読の手順について

①pH ②PaCO<sub>2</sub> ③HCO<sub>3</sub> ④PaO<sub>2</sub>

○事例を用いた酸塩基平衡の解釈について（「検査所見による酸・塩基平衡異常の解析」を用いて）

○アニオンギャップについて など

研修会に参加して

冒頭は美しい薔薇の花のスライドで（技師長さんの趣味だそうです。（\*^\_^\*））、生命を支える循環システムについての説明をして頂きました。水、炭素と酸素、窒素の循環により薔薇も美しい花を咲かせ、様々な色をつけていくとのこと。薔薇の花に癒されつつ酸・塩基平衡の解釈に突入。学生から医師まで様々な参加者に対し、わかり易く丁寧にお話しして下さいました。見慣れた検査項目でも、基準値の記憶はあいまいになってしまいがちですが、ここでまた再確認をいたしました。図を用いて pH、PaCO<sub>2</sub>、HCO<sub>3</sub>の関係から呼吸性アシドーシスやアルカローシス、代謝性アシドーシスやアルカローシスについて判断していく場面では、実際の事例について考えたためイメージし易く、わかり易かったです。また代謝性アシドーシスの指標であるアニオンギャップについても新しく知識を得ました。今回の学びを実際の看護の中でも生かしていくため、血液データをしっかり把握していきたいと思いました。

担当 大清水、横川、内山

